

新山協ニュース

▲ 発行者 鈴木敏雄

▲ 発行所 新潟県山岳協会

〒940 長岡市学校町1-12-23 室賀輝男方 TEL 0258-32-0428

第四回韓日親善登山

― 奥穂高岳

越後山岳会 山田 智子

梅雨まっ只中の7月17日12時30分、いつ時の晴れ間を待っていたかのように、韓国の山仲間を乗せた大韓航空機が新潟空港の1番スポットに到着した。

新潟県山岳協会と韓国晶元山岳会が姉妹山岳会を結んでから6年、今回は4度目の親善登山である。これまで58年6月―雪岳山、59年11月―谷川岳と白馬岳、61年2月―智異山と交流を深めて来た。

今回は、7月に奥穂高岳へ登りたいという韓国側からの便りが、5月初めに届き招請手続きをとった。私達は6月末に訪韓計画を立て、既に航空券の手配も済んでいたが、急遽秋に延期することにして奥穂へ同行しようと決めた。

送迎の人達で賑わう空港ロビーには、今回の韓国隊隊長金九鉉氏の友人である大韓民

国総領事 金守萬氏をはじめ、ロッテ観光新潟事業所 黄鍵傑所長、韓国語講座でお世話になっている新潟韓国教育院 辛鎮雨院長など日韓人と

して各界で活躍されている方々の姿も見え、遠来の友の歓迎に花が添えられた。

30分位待っただろうか、ガラス越しに通関手続きを済ませた大勢の人達に混って、赤い帽子が5つ連なり、一緒に日焼けした顔が笑みを浮かべながら近づいて来た。一行は

金九鉉隊長以下、男性3名、女性2名。「アンニョンハセヨ」と馳け寄り再会を喜び合った。

ちょうど昨年の智異山登山から1年4ヶ月振りである。前日の電話で今回の5名は日本語が全くできないとの連絡を受けていたが、私達も満足

に韓国語を話せない。唯一の

「アンニョンハセヨ」に万感に乗ってもらおうと、ささやこめて手を差し出すと、お互いに両手を強く握りしめた。10軒のスピードで僅か20分片言の挨拶でも相互の笑顔に気が十分通じていることを強く実感し、アタック当日天候に恵まれることを祈りながら、いつしか奥穂高岳の頂きに立つ私達の姿を想像していた。

今回は山行きに費やす日数が2日半と短く、勢い強行軍にならざるを得なかった。その為駆け足の状態でスタートしたが、言葉が通じないわりには久し振りの再会に話が弾み？ 出発に時間がかかる。私達が訪韓中に再々耳にした「パリ！パリ！早く早く」を連発し荷物を車に積み込む。彼等は無類の写真好き、私達の逸る気持をよそに、シャッターボタンから指を離そうとしない。再び「パリ！パリ！」の声にようやく車中の人となり、新潟駅へ向かった。上高地へ到着する時間を考えると遅れて小雨の降りしきる上高地へ11時半過ぎに到着した。

日本山岳会の宿泊施設を利用

「アンニョンハセヨ」に万感に乗ってもらおうと、ささやこめて手を差し出すと、お互いに両手を強く握りしめた。10軒のスピードで僅か20分片言の挨拶でも相互の笑顔に気が十分通じていることを強く実感し、アタック当日天候に恵まれることを祈りながら、いつしか奥穂高岳の頂きに立つ私達の姿を想像していた。

今回は山行きに費やす日数が2日半と短く、勢い強行軍にならざるを得なかった。その為駆け足の状態でスタートしたが、言葉が通じないわりには久し振りの再会に話が弾み？ 出発に時間がかかる。私達が訪韓中に再々耳にした「パリ！パリ！早く早く」を連発し荷物を車に積み込む。彼等は無類の写真好き、私達の逸る気持をよそに、シャッターボタンから指を離そうとしない。再び「パリ！パリ！」の声にようやく車中の人となり、新潟駅へ向かった。上高地へ到着する時間を考えると遅れて小雨の降りしきる上高地へ11時半過ぎに到着した。

日本山岳会の宿泊施設を利用

させて頂き、短時間であったがお天気祭り(酒を呑むこと)をして1時頃就寝。しかし韓国隊の女性2人は、ザックの荷物を積めたり出したり。

「寝ましょう」という用語の説明に四苦八苦させられ、自分の勉強不足に苦笑した。

5時頃目を覚ますとかなり雨が降っていた。予定通り涸沢迄行って、その先は空模様と相談だ。吹抜けの2階から下を見ると朝食の用意ができており、みんなを起こすと、あちらの皆さん「おはようございます」と日本語で挨拶してくれた。全員で朝食の食卓を囲み、6時過ぎ上高地を出発。トップは両国の1人ずつ2人が先行したが、その早いこと。雨降りなので道草もままならないのに、珍らしい光景なのか写真の連続撮影で、みるみる隊列の連携が途切れるが、すぐに間隔が狭まる。そんな繰り返しを続けて、3時間行程を2時間ちよつとの早さで横尾に着いた。これに気をよくして昼迄に涸沢へ行

けると分り、穂高岳山荘迄上られるぞ……今夜は上で泊り……という良いムードが漂よ

い、小雨の中を片言会話も楽しく益々ピッチが上がった。金隊長の申し出を受けて、上高地より広い道巾が続くので延々と手をつないで歩いた。ひやかされながらも自然の懐の大きさか、なんの照れも感じない。横尾/涸沢迄の3時間行程も順調に歩を進める。高度が上って残雪が現われ出すと、「シャジン シャジン」と撮ったり遊んだりするのでたちまちタイムロスが出る。時には集合写真に5/6台のシャッターを切る。雨もやま

なは上へ行く仕度を整えていた。やがて雨の晴れ間に青空さえのぞくようになり、「パリ!パリ!」と2時前賑やかに涸沢を発つ。悪天のせいか夏には雑誌のグラビアを飾る色とりどりのテント村も疎

で、登る人も少なく私達の片言話で響きわたる。穂高岳山荘まで十分な時間的余裕があるので、思う存分写真も撮り、晴れ間の虹に歓声をあげたり、今が盛りと咲き乱れるシナノキンバイやハクサンイチゲを足元に見ながら、順調なペースで登ることができた。ひとえに下越山岳会の五十嵐大先輩が、終始軽快な足

の感激も一汐なのだろう。ザックを投げ出してはしゃぐ姿に、雨についての強行も、思

い出深い山旅として語り継がれるであろうと、共に喜んでだ。山荘の一夜は全員が同室できて、楽しい山族パーティーに憩う。韓国の歌や日本の古い歌を指名しあって全員が唄い、持参のニラキムチの辛さは今も忘れられない。山の夜は更けるのが早いもの、前日の寝不足も重なって、8時に狭い部屋が混成?部合唱で更けていった。

出る。懐いの赤帽子11ヶを連ねて、奥穂高岳への急な若嶺も、雲間より時折頭を突き出す槍ヶ岳をかい見ながら登って行く。次第に山荘も小さくなり、やがて視界から消えた。足下にした3190米の

奥穂高岳の頂きは、あいにくの雨と風で遠来の友を歓迎してくれたが、目標の頂きに立てた喜びでどの顔も明るかった。韓国隊には山荘で発行してもらった「登頂証明書」を手渡す。受取る金隊長の笑顔と握手の強さに、喜びと感謝の気持がずしりと伝わってきた。皆んなの拍手と「カムサニダ」「お疲れ様」も風に舞う。良かった、登れて良かったと胸が熱くなる。思えば短い日程ながらきちんとした招請手続きが必要で、その為に数度に及んだ勤務中の外出、計画段階の電信電話連絡、若い協会の協力など、職場や仲間の暖い理解と応援を感謝すると共に、責任を果した喜びで私の心は快晴だった。あとは涸沢を下ればよい

のである。記念写真を撮ると
頂きを後にした。

ダウンダウンを連発しながら、足並みの揃いかチームワークの良さか、予定より早く11時に下山を終了した。急降下の5時間で足はくたびれ、全身濡れネズミであったが、どの顔も完登できた嬉しさに溢れていた。韓国隊とは「カムサニダ」で、日本隊とは「ありがとう」で完登を囁ら

梅雨空の最中、全行程が雨に見舞われ、特に強行日程という今回の親善登山であったが、「雨降って地固まる」の諺のように、国情や言葉の違いを越えた素晴らしい友情の輪が、今回の目的成就で一回り大きくなったのではないだろうか。いつの日か大輪となることを願いながら、今後も交流を深めていきたいものである。

子に皆さんの笑顔と再会の光景をオーバーラップさせながら、秋の訪韓へと心を馳せている。
タシマンナブシシダ
다시만남시다
(またお逢いしましょう。)

日山協

指導委員会総会 に出席して

指導委員会
田中 栄 弘

6月7日、東京岸記念体育館に於いて開催されました。澤村副会長の挨拶に始まり、全国の各岳連・協会の指導委員会の事業報告、計画及び現状についての報告があり、特に指導員の高齢化の問題、指導員の資質向上と再教育、県とタイアップでスポーツ教室を開催してある。ファミリ

ー登山。シルバー登山。海外登山を多く実践してある。ジュニア強化に力を入れてある。県山行、行事に点数制を導入し指導員参加を呼びかけた。前年度の岳連協会の行事に参加しないと受検資格が得られない。合格者は次の行事の講師となりレベルアップを計る。魅力ある中身ハイレベルの行事を模索しており、2年間研修会や行事に参加しない人は即はずす。等の話があり心に残りました。又指導員の指導技術は教えられる側の六倍以上勉強し、大いに指導員を教育実践することが各岳連、協会、クラブの発展につながるという話もありました。日山協東地区研修会報告では、月報213号に記載済みの空中懸垂中ザイルが、エイトカンにロックされ空中で動けなくなった件の報告があり、大変勉強になりました。

今年度の東地区研修会は東海ブロックであり、来年度は北信越ブロックで開催されますので、皆様の参加をお願いします。日山協より社会体育指導者制度(文部省)及び、日体協上級コーチの資格取得を多くの方々にお願い致しますとのこと。
最後に日山協第1種技術検定法の一部変更についてお知らせ致します。左記の3種類として、そのいずれかの一を選択できるものとする。
(1) 論文による
従来どおり、課題による論文検定とする
(2) 上級コーチ資格(日体協)取得提出により認定(2年間に両方の研修会に参加する)
(3) 日山協指導員研修会による認定

現在おこなっている研修会指導員の教育と研修の水雪技術(富士山、3月実施)と登攀技術(地区別ブロックで実施)の両方へ参加し、申込みを所定の手続きで行うものとする。
もう一つはヤマの男がいなくなったという事である。昔はヤマが収入の場であったから、個々の隊員がその地形を熟知し、救助活動での身のこなしも俊敏そのものであった。しかし現在はヤマの仕事に従事している者はほとんどいなく、それを克服するには訓練

山岳遭難救助 講習会・感想

新潟県山岳協会
新瀨山山岳会

榎井 利 幸

7月11日・12日にかけて

協主催で講習会が開催された。講師の上村敬雄氏の講演の中で印象に残ったものが2つある。1つは、上村氏が大和町山岳遭難救助隊長になる前の出来事だ。前隊長が悔しくも二重遭難で命を落とし「もう他人の事でこんな目に会ってたまるものか」と救助隊を解散したが、やはりその使命の重要さに現在もその活動を続けているとおっしゃられていた。その事故では、西、東

走した結果、警察官の組織と同じ条件を得られたのがなによりもの慰めであった、と言われていた。現在はそれが当然のように言われているが、上村氏のそれを語る表情は感概深そうであった。
もう一つはヤマの男がいなくなったという事である。昔はヤマが収入の場であったから、個々の隊員がその地形を熟知し、救助活動での身のこなしも俊敏そのものであった。しかし現在はヤマの仕事に従事している者はほとんどいなく、それを克服するには訓練

しかない、とおっしゃられていた。町と警察署と救助隊、この三者の連携プレーが軌道に乗ってこそその力が十出せるとも語られていた。

ともあれ、誇る事なく、むしろ謙虚な姿勢で淡々と説明される上村敬雄氏には、機会があれば千本松小屋でまたお話をうかがいたいと思っ

翌日の実技講習は雨のため、岩場からの搬出について、あまり時間をかけられなかったが、小屋がけ、ねじり木を使用したシバゾリの作り方、焚き付けもない場合の焚火の方法等、こういう機会できなければなかなか習得できないものを学ぶ事が出来、嬉しく思っている。所属の山岳会の仲間達にも伝えたいと思っ

(遭難対策委員)

国体山岳競技

について

国体委員長

吉野 良介

藤井委員長よりバトンを受け、ただガムシヤラに登って

来た現場育ちの私には、知識、経験不足で国体委員長が努まるか不安に思っ

競争力は年々レベルが向上し、選手個人の知識技術だけではなかなか追いつけないところまで来たような感じがあり、予算も10万〜2000万までと差が大きくなり、各県の組織力対組織力の対決の様相になって来ているのではな

全国レベルから見た新潟県は大体中の上で、技術的には劣っていると思

今年度の大会は北信越で終りですが、来年は二巡目の京都であり、規則基準も大巾に改正され、日程短縮、競技はより簡略化されますので、各団体、個人でも結構ですから主旨を理解され予選会に参加して頂きたいものです。

山梨国体での成年男子、踏査定点点満点のように、やれば出来る体制になりつつあります、コーチングスタッフも徐々にそろって来

婦人部親睦登山のお知らせ

7月中旬、新山協と姉妹山岳会を結んでいる韓国の晶元山岳会会員と奥穂高に登って

来ました。連日雨降りでしたが、全員(韓5名、新6名)が奥穂の頂きを踏むことができて、想い出深い山行になりました。帰国されてすぐに訪韓のお誘いが届きましたので4年前雨で登ることができなかった雪岳山へ、もう一度挑

戦してみたいと計画しました。多数のご参加をよろしくお願

- ◎ 計画概要
- 第5回韓日親善登山
- 韓国 雪岳山
- 1. 目標の山 雪岳山 1708M
- 韓国名 ソラク山
- 2. 日程
- 11月6日 10時新潟空港発
- 11月7日 雪岳山登山
- 8日 下山後ソウルへ
- 9日 13時半金浦空港発
- 16時頃新潟空港着

- 3. 装備
- 4. 費用
- 旅費+小遣10万位
- (バスポートは各自取得)
- 5. 申込み
- 10月5日までに
- 中蒲原郡亀田町旭1の1の13
- 山田 智子
- 電話(025)161-1663
- (025)161-1663
- (025)161-1663
- その他
- 8日夜と9日午前中、ソウルの街を見学。



教習種目 大型・普通 (第1種) 大特
自二輪・身障者用各種自動車 (第2種)

中条自動車学校

北蒲原郡中条町大字高野字茨島
中条 (0254) 44-8071
社長 高野 愛子

読書は万能の基

新潟市営所通 1-301

学生書房

電話 025-222-9870 番